

企業局情報通信

K-RELEASE VOL.207

静岡県企業局

● 電話 054-221-2153

● F A X 054-251-5381

発行 令和3年8月25日

ユーザーの皆様と連携した防災訓練延期のお知らせ

企業局では、大規模災害時等における用水供給の断水に備え、工業用水ユーザーの皆様と連携した防災訓練を毎年実施しています。今年度は9月1日を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、県内に「緊急事態宣言」が発令されたことから延期することとしました。ご迷惑をおかけし申し訳ありませんがよろしくお願いいたします。なお、実施時期につきましては、後日改めて案内いたします。

「もしも」のときのために・・・

今一度、御確認をお願いいたします。

- ◇ メール及びFAXを使った情報伝達方法
 - ◆ ユーザー様と企業局の連絡体制の確認
- ◇ 「災害時管路情報システム」による工水被害状況の確認
 - ◆ 断水情報、復旧見通しなど事業再開の目安となる情報を発信します。

【災害時管路情報システムとは？】



工業用水の断水状況や復旧見通し等の情報をスマホやパソコンで確認できます。(ユーザー様のみが閲覧可能です)

※ユーザーID・パスワードについては配布済ですが、システム情報についてお問い合わせ等ありましたら各事務所まで御連絡ください。

<https://shizuoka.gisadmin.geocloud.jp/webgis/login.html>



※上記URLには、企業局ホームページもしくはバーコードリーダーからもログイン画面にアクセスできます。

「静岡県トップページ」→「組織(部署)から探す」→「企業局」→

トピックス：「災害時管路情報システム」を構築しました



【企業局より 緊急時連絡用のメールアドレスご登録のお願い】

大地震が発生すると、しばらくの間、電話やFAXが不通となる恐れがあります。緊急時に相互の情報を伝達する複数の手段確保のためメールアドレスの登録をお願いします。

登録方法

「災害時の連絡先の登録様式※」を御記入の上、各事務所宛送信願います。

静岡県企業局東部事務所総務課メール kigyou-tobu@pref.shizuoka.lg.jp

西部事務所総務課メール kigyou-seibu@pref.shizuoka.lg.jp

※「静岡県トップページ」→「組織(部署)から探す」→「企業局」→トピックス：「緊急時の連絡先登録」のお願いからダウンロード

※ 御登録いただいたメールアドレスは、防災関係情報以外には使用いたしません。

命の水講座開催

～水道を次世代につなぐ～

企業局西部事務所では、例年、水道への理解を深めてもらうため磐田市をはじめとする給水先市町の小学校からの施設見学を積極的に受け入れております。しかし、昨年度から、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、水道施設における見学を中止せざるを得ない状況が続いています。

そこで、西部事務所の職員が、水の専門家として小学校へ出向き、4年生約80名に対し授業を実施しました。

水道は、人々の生活に欠くことのできない、命にも関わる重要なインフラです。次世代を担う小学生に水や水道のしくみを伝えていくことも私たちの仕事のひとつです。

開催日 7月1日（木）

開催校 磐田市立西小学校

＜授業の主な内容＞

- ・ 浄水場の役割
- ・ 飲み水を作る実験
- ・ 水の循環
- ・ 水道の未来について



授業風景



実験の様子



お礼・感想の手紙

＜担当者感想＞

スライドや実験を織り交ぜた1時間の講座はあっという間に時間が過ぎてしまいました。たくさんの小学生が熱心にメモを取りながら耳を傾けてくれて、積極的に質問をしてくれました。浄水場の仕事で一番大変なことを聞かれたので、毎日休まずにきれいな水を送り続けるための日頃の設備の点検のことなどを説明しました。後日、お礼と感想の手紙を頂き、私たちの説明がしっかり理解してもらえた事が実感できました。この授業は、水道や水に関する知識や情報について、施設見学と同様の効果が得られると感じました。

水道への理解を深めていただくため、今後も、このような講座の開催を検討してまいります。

経営評価委員会を開催しました

去る7月9日「令和3年度第1回静岡県企業局経営評価委員会」を開催しました。会議では企業局から3事業会計の決算概要や工業用水道事業及び水道事業の取組状況、管路更新手法改革の取組状況、新たな契約方法の導入と効果、地域振興整備事業の状況等の報告の後、企業局経営戦略（第4期中期経営計画）の進捗状況の説明と、その見直しに関する協議を行いました。

委員の皆様からは、民間的経営手法の導入や今後の工業用水道事業の方向性等について御意見をいただきました。

本委員会の様子は静岡新聞や建通新聞にも取り上げられました。

<御出席いただいた委員の皆様>

氏名	役職
朝月 雅則	浜松市水道事業及び下水道事業管理者
井熊 芽久美	めぐみ会計事務所 所長
鎌田 素之	関東学院大学理工学部 准教授
小泉 祐一郎	静岡産業大学 教授
上坂 美乃	株式会社上坂 代表取締役社長
樋口 徹	作新学院大学経営学部 教授
古郡 英治	富士商工会議所 専務理事
山田 慎也	一般財団法人静岡経済研究所 理事
山本 麻美	株式会社富永事業 代表取締役



<主な御意見>

- 管路更新手法改革とビルドメンテナンス契約は、大変興味深い。
- 収益改善において、費用削減の積極的取組は大変素晴らしい。
- 経営革新の取組で「BM」や「PFI」との記載があるが、これに限らず民間的経営手法の導入を幅広く検討することを期待する。
- 工業団地「富士山麓フロンティアパーク小山」の完売は画期的。経済状況が悪い時に準備し、好景気の時に販売する意識は素晴らしい。県全体としてそのような共通認識が重要となる。
- 経営戦略の資料から、職員の前向きな気持ちやレベルアップの意識を感じた。
- 時節柄、富士大淵工業団地の造成において「盛土」が気になった。
→企業局の開発行為は様々な規制の下で適切に実施している。
- 新しい手法を積極的に取り入れ、成果をあげていることは素晴らしい。水の安定供給という役割継続のため、経営基盤の強化が必要という方針のもと、基本的役割プラスアルファの挑戦は高く評価できる。水を使う県外の企業に向けて営業をかける検討も必要と考える。
- 工業用水の新規ユーザー獲得が喫緊の課題と思われる。ビジネスパートナーとなる企業の評価も大事であることも参考にさせていただけたらと思う。

※経営評価委員会の詳細は、企業局ホームページで御覧いただけます。

「企業局」⇒「経営評価委員会」

いただいた御意見を活かし、

新たな取組を進めてまいります。

水道事業の業務状況(令和3年7月26日現在)

7月の使用水量は、前年度同期比で、榛南水道は100.6%と増加し、駿豆水道は97.4%、遠州水道は97.7%と減少し、全体では97.9%となっています。(単位：千m³、%)

水道名	基本水量(日量)		基本水量 a		使用水量 b		使用率 b/a
			7月分	累計	7月分	累計	累計
駿 豆	当 該 年 度	100	3,100	12,300	867	3,474	28.2
	前年度同期	100	3,100	12,300	890	3,461	28.1
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	97.4	100.4	
榛 南	当 該 年 度	27	837	3,321	461	1,819	54.8
	前年度同期	27	837	3,321	459	1,847	55.6
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	100.6	98.5	
遠 州	当 該 年 度	292	9,055	35,928	5,152	20,231	56.3
	前年度同期	292	9,055	35,928	5,272	20,344	56.6
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	97.7	99.4	
合 計	当 該 年 度	419	12,992	51,549	6,480	25,524	49.5
	前年度同期	419	12,992	51,549	6,621	25,652	49.8
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	97.9	99.5	

工業用水道事業の業務状況(令和3年7月26日現在)

7月の使用水量は、前年度同期比で、柿田川工水は100.4%、富士川工水は137.9%、東駿河湾工水は104.6%、静清工水は105.0%と増加し、中遠工水は96.0%、西遠工水は99.6%、湖西工水は98.2と減少し、全体では104.2%となっています。(単位：千m³、%)

工水名	基本水量(日量)		基本水量 a		使用水量 b		使用率 b/a
			7月分	累計	7月分	累計	累計
柿田川	当 該 年 度	100	3,100	12,300	3,014	11,884	96.6
	前年度同期	100	3,100	12,300	3,003	11,855	96.4
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	100.4	100.2	
富士川	当 該 年 度	27	835	3,344	677	2,625	78.5
	前年度同期	46	1,417	11,268	491	2,437	21.6
	前年度同期比	58.9	58.9	29.7	137.9	107.7	
東 駿 河 湾	当 該 年 度	364	11,273	44,613	7,980	30,847	69.1
	前年度同期	368	11,388	45,171	7,629	29,896	66.2
	前年度同期比	99.0	99.0	98.8	104.6	103.2	
静 清	当 該 年 度	51	1,545	6,193	1,149	4,391	70.9
	前年度同期	52	1,556	6,211	1,094	4,202	67.6
	前年度同期比	99.3	99.3	99.7	105.0	104.5	
中 遠	当 該 年 度	34	1,055	4,184	448	1,690	40.4
	前年度同期	42	1,311	5,194	467	1,693	32.6
	前年度同期比	80.3	80.4	80.6	96.0	99.8	
西 遠	当 該 年 度	30	910	3,612	643	2,465	68.2
	前年度同期	34	1,071	4,259	645	2,366	55.6
	前年度同期比	84.9	85.0	84.8	99.6	104.1	
湖 西	当 該 年 度	17	497	1,986	324	1,212	61.0
	前年度同期	17	496	1,984	330	1,204	60.7
	前年度同期比	100.1	100.1	100.1	98.2	100.7	
合 計	当 該 年 度	623	19,214	76,232	14,235	55,114	72.3
	前年度同期	659	20,339	86,387	13,659	53,653	62.1
	前年度同期比	94.5	94.5	88.2	104.2	102.7	